



2017年1月10日

各 位

会 社 名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 杉 崎 康 昭
(コード番号：5726 東証第一部)
問合せ先 総 務 部 長 土 井 卓
(TEL. 06-6413-9911)

三井住友銀行のイノベーションマネジメント評価融資での第一号適用会社として高評価を取得

—積層造形（3Dプリンター）向けチタン粉末への取組み—

当社は、株式会社三井住友銀行（國部毅頭取）が取扱いを開始した「SMBC イノベーションマネジメント評価融資」（注）の第一号適用会社として、高評価を取得し、同評価に基づく融資を受けました。

今回の評価では、当社がチタン粉末等の新素材の研究開発に積極的に取組んでおり、またその体制について技術革新のリーディングカンパニーにふさわしい高水準を保持していると判断されました。

当社は、中期経営計画（2015-2017）に基づき、高機能材料事業を当社事業の第三の柱とすべく、2015年6月、新規事業開拓プロジェクトチームを立ち上げ、全社一丸となりイノベーションを推進してきました。その結果、「積層造形（3Dプリンター）向けチタン粉末の技術確立」（2016年7月28日公表）においてご案内の通り、研究開発から実用化に向け、一定の成果が得られつつあります。

積層造形とは、設計データから立体物を直接造形する技術のことで、複雑な形状をした部品の量産や製造工程の大幅な簡素化・コスト低減等を通じて「モノづくりの革新」につながることを期待されています。現在、当社が製造するスポンジチタンの主要用途である航空機分野や医療分野においても、積層造形による部品製造が大きく注目されており、国内外の企業にて積極的な研究開発が進められています。

より安全に、より豊かに、より速く — そのような社会の実現に向けて、当社はチタン・ポリシリコンが秘める素材の力を引き出すトップメーカーとして、その限りない可能性へ挑み続けます。

（注）

「SMBC イノベーションマネジメント評価融資」:

株式会社三井住友銀行と一般社団法人 Japan Innovation Network（紺野登代表理事）が作成した独自の評価基準に基づいて、「イノベーションマネジメントの具体的な取組み状況」や「取組みの下支えとなるビジョン・実行体制・教育体制等」に関して客観的に評価を行うとともに、取組みについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例なども併せて還元する融資商品。

以 上